

国際研究開発事業

平成30年度予算額 **3.8億円 (4.0億円)**

事業の内容

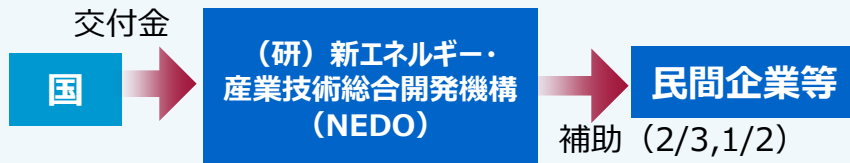
事業目的・概要

- 我が国企業は、研究開発を行う際、不足している技術・アイデア等を企業外部から積極的に取り込むことで新技術を創出するオープンイノベーションの取組が欧米諸国と比較して遅れています。
- これは、研究開発のスピードで劣後するだけでなく、標準戦略上でも立ち後れの一因となっており、海外市場の獲得でも足かせとなっています。
- 本事業は、我が国企業の産業競争力を強化するため、優れた技術を持つ海外企業との国際共同研究開発を通じて、我が国に無い海外の優れた技術や知識等を活用し、先端的な技術を創出することを目的としています。

成果目標

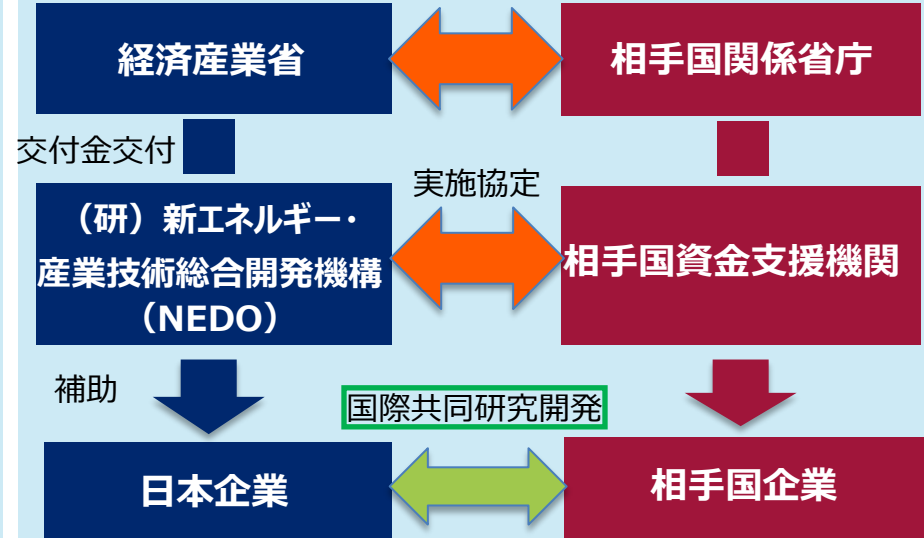
- 平成28年度から平成32年度までの事業であり、我が国企業の国際共同研究開発を促進し、国際標準化戦略、海外市場の獲得に繋げ、平成29年度以降に我が国企業と海外企業が協力して毎年5件以上の技術を創出することを目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

共同研究開発に係る合意



実施事業例：車載表示機器システムの研究開発

日本企業が得意とする技術

レーザー表示光学技術

海外企業が得意とする技術

画像認識・画像処理技術

我が国のレーザー表示光学技術とイスラエルの画像認識・画像処理技術を組み合わせ、対象物の動きを捕捉しながら、ドライバーの視点位置に応じて情報表示位置を補正調整する車載表示機器システムを開発。

